

酒造好適米「山田錦」の安定生産のための生育指標

利用対象：普及指導員

酒造好適米「山田錦」の目標収量を得るための生育指標を作成しました！

(特徴)

酒造好適米「山田錦」の目標収量を得るための生育指標は以下のとおりです。

- ① 目標収量である 45kg/a を得るための㎡籾数は 185 百粒で、その他の収量構成要素は表のとおりです。
- ② 穎花原基分化始期（出穂 24 日前頃）の生育指標値（草丈(cm)×㎡茎数(本)×SPAD 値/10,000）が 115 の場合、穂肥を出穂 18 日前と 10 日前に窒素成分で各 0.2kg/a 施用することで 185 百粒の㎡籾数が得られます(図)。具体的な穎花原基分化始期の生育の目安は草丈 80~85cm、㎡茎数 480~520 本、SPAD 値 28 です。
- ③ 移植後 30 日の生育指標値が 90 の場合、穎花原基分化始期の生育指標値は 115 と推定されます。具体的な移植後 30 日の生育の目安は草丈 36~45cm、㎡茎数 500~600 本、SPAD 値 40 です。生育指標値が 100 を超える場合は倒伏防止のため中干し程度をやや強めます。

表 目標収量と収量構成要素

目標収量	45kg/a
㎡籾数	185百粒
㎡穂数	350~400本
一穂籾数	46~53粒
登熟歩合	85%以上
千粒重	28.5g以上

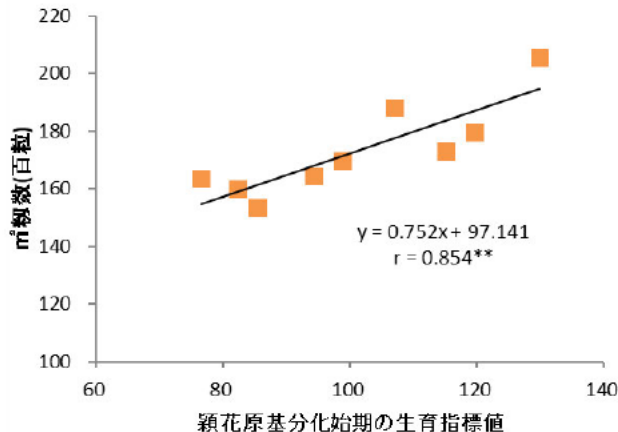


図 穎花原基分化始期(出穂 24 日前頃)の生育指標値と㎡籾数の関係

(利用場面と留意点)

- 伊賀地域において 5 月下旬に稚苗を 18.2 株/㎡の栽植密度で移植する条件に適用します。
- 収量、収量構成要素は 2.0mm 篩上の玄米についての調査結果です。

お問い合わせ先	伊賀農業研究室	中山幸則	電話 0595-37-0211
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm		